

福岡県歯科保険医協会主催 学術講演会

「臨床現場で役に立つ 口腔粘膜疾患の診断のポイント」 ～当科での診断から治療まで～

九州大学大学院歯学研究院 口腔顎顔面病態学講座
顎顔面腫瘍制御学分野
九州大学歯学研究院 OBT 研究センター

講師 森山 雅文 先生

日時 2月29日(土)18時～20時

会場 九州ビル9階大ホール

(福岡市博多区博多駅南1丁目8-31 協会 TEL092-473-5646)

参加費 会員無料 この機会に是非ご入会下さい



【森山先生より】

口腔粘膜疾患の臨床像は多種多彩で、びらんや潰瘍、萎縮、水疱、角化異常など様々な徴候を示す。そのなかには、悪性、または放置すると悪性化するものもあり、的確で早期の診断が重要である。最近ではマスメディアで口腔癌が頻繁に取り上げられ、口腔粘膜の異常を訴え、歯科を受診される患者も増えてきている。そこで本発表では、まず診察（視診・触診）から様々な口腔粘膜疾患の特徴を解説し、悪性の徴候を見逃さないポイントについて述べたい。さらに、発症頻度の高い口腔粘膜疾患については、初診時から治療後経過までを経時的に供覧する。

また、臨床現場でしばしば遭遇する難治性疾患である「顎骨壊死」についても触れたい。以前は骨粗鬆症や骨転移の治療薬であるビスホスホネート(BP)が原因薬剤であったことから、「ビスホスホネート関連顎骨壊死(BRONJ)」と呼ばれていたが、近年BP以外にも骨吸収を抑制する薬剤が開発され、さらに抗がん薬や分子標的治療にも顎骨壊死の発生頻度が増加することから、疾患名がBRONJから「薬剤関連顎骨壊死(MRONJ)」に改称された。そのような背景から、歯科でもMRONJの発症リスクを有する患者が年々増加しており、MRONJに対する正しい知識と診断が求められている。そこで、MRONJに対する当科における治療体系について概説し、当科で行っている保存療法についても紹介したい。

☞ 返信先 FAX : 092-473-7182

会員氏名 : _____ 参加者 _____ 名

医療機関名 : _____ TEL : _____